

喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ

名前 解答

解答

問1 喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、個人の要因が関係する。個人の要因には何があるか。4つ挙げよ。

- (知識) (考え方)
 (対処能力) (心理状態 など)

問2 喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、社会的環境の要因が関係する。社会的環境の要因には何があるか。3つ挙げよ。

- (周囲の人たちの喫煙や飲酒) (断りにくい人間関係)
 (周囲の人からの喫煙・飲酒・薬物乱用の誘い など)

問3 喫煙・飲酒・薬物乱用をしないためには、どのような対策を行えばよいか。4つ挙げよ。

- (害について理解する) (手を出さないという意思を強く持つ)
 (断り方などの対処能力を身につける) (ストレス対処能力を高めておく)

問4 20歳未満の喫煙・飲酒を防止するための対策として、どのようなことが行われているか。5つ挙げよ。

- (喫煙・飲酒の害を知らせる警告表示) (宣伝・広告の規制)
 (自動販売機の規制) (年齢確認)
 (罰則の強化)

問5 薬物の使用を禁止するための対策として、どのようなことが行われているか。

- (密売・密輸を防ぐための法律が整備されたり、取り締まりが強化されている。)

問6 喫煙、飲酒、薬物乱用を始めるときの心理状態や考え方について、例を4つ挙げよ。

- (一回だけなら大丈夫だろうと考える。) (大人になった気になる。)
 (なんとなくかっこいいと思う。) (投げやりになっている。)

※他に、断れない、イライラや憂鬱で手を出す、害があることを知らない、などの例がある。

問7 喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、2つの要因があると考えられている。2つの要因とは何か。

- (個人の要因) (社会的環境の要因)

問8 次の文について、正しいものには○で、間違っているものには×で答えよ。

- ①薬物犯罪では、インターネットを用いた密売などもあり、手口が複雑で巧妙になっている。 (○)
 ②喫煙・飲酒・薬物乱用の開始に、個人のコミュニケーション能力は関係ない。 (×)
 ③薬物の誘いには、薬物だとわからない呼び名を使って誘ってくることもある。 (○)

